

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第2区分

【発行日】令和7年5月16日(2025.5.16)

【公開番号】特開2023-169092(P2023-169092A)

【公開日】令和5年11月29日(2023.11.29)

【年通号数】公開公報(特許)2023-224

【出願番号】特願2022-169219(P2022-169219)

【国際特許分類】

G 10 L 15/10(2006.01)

10

G 06 Q 50/10(2012.01)

G 10 L 15/22(2006.01)

G 10 L 25/63(2013.01)

【F I】

G 10 L 15/10 500N

G 06 Q 50/10

G 10 L 15/22 300Z

G 10 L 25/63

【手続補正書】

20

【提出日】令和7年5月8日(2025.5.8)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

プロセッサと、記憶部とを備え、第1ユーザと第2ユーザとの間の対話に関する情報をコンピュータに処理させるプログラムであって、

前記プログラムは、前記プロセッサに、

前記対話に関する音声データを受け付ける受付ステップと、

前記受付ステップにおいて受け付けた前記音声データの少なくとも一部に対応するデータを入力データとして、学習モデルに入力するデータ入力ステップと、

前記学習モデルから、前記入力データに応じて話者の感情または印象に関する評価結果を出力するデータ出力ステップと、

を実行させるプログラム。

【請求項2】

前記入力データは音声データ、または、動画データにおけるユーザの発言内容に関するテキストデータを含む、

請求項1記載のプログラム。

【請求項3】

前記データ出力ステップは、前記学習モデルから、前記入力データに応じて話者の感情または印象を示すラベル情報を含む前記評価結果を出力するステップである、

請求項1記載のプログラム。

【請求項4】

プロセッサと、記憶部とを備え、第1ユーザと第2ユーザとの間の対話に関する情報をコンピュータに処理させるプログラムであって、

前記プログラムは、前記プロセッサに、

前記対話に関する音声データを受け付ける受付ステップと、

40

50

前記受付ステップにおいて受け付けた前記音声データの少なくとも一部に対応するデータを入力データとして、学習モデルに入力するデータ入力ステップと、
前記学習モデルから出力結果に基づき、前記入力データに応じた話者の感情または印象を示すラベル情報を取得するラベル取得ステップと、
を実行させるプログラム。

【請求項 5】

前記学習モデルは音声データの少なくとも一部に対応したデータを入力することに応じて、所定の特徴量を出力可能に学習されている、

請求項 1 から 4 のいずれか記載のプログラム。

【請求項 6】

前記プログラムは、前記プロセッサに、

前記評価結果をユーザに提示する提示ステップを実行させる、

請求項 1 から 3 のいずれか記載のプログラム。

【請求項 7】

前記プログラムは、前記プロセッサに、

前記ラベル情報をユーザに提示する提示ステップを実行させる、

請求項 4 記載のプログラム。

【請求項 8】

プロセッサと、記憶部とを備える情報処理装置に実行される方法であって、前記プロセッサが、請求項 1 から請求項 4 のいずれかに係る発明において実行される全てのステップを実行する方法。

【請求項 9】

プロセッサと、記憶部とを備える情報処理装置であって、前記プロセッサが、請求項 1 から請求項 4 のいずれかに係る発明において実行される全てのステップを実行する情報処理装置。

【請求項 10】

請求項 1 から請求項 4 のいずれかに係る発明において実行される全てのステップを実行する手段を備えるシステム。

10

20

30

40

50